

R 4 名瀬地区「市民と市長のふれあい対話」での主なご意見と市の対応

名瀬地区

2023.4月現在

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
1	古見方	学校の存続について	小湊小学校の存続について、指定農地を解除して住宅を建設できないか。また、特認校制度の利用などできないだろうか	<p>空き家の利活用については、条例・計画・協議会をそれぞれ立ち上げ、空き家調査による現状把握に基づいて、リフォーム助成・空き家バンク制度・危険空き家等除却助成制度などを進めている他、不動産業界との協定や相談会の実施などにより流通の活性化に努めています。</p> <p>市営住宅整備などの公共施設整備や市有地の有効利用におけるPPP/PFI手法導入の検討については、庁内体制の構築や地域プラットフォームの立ち上げに取り組んでいるところです。</p>	P J 推進課
				<p>市営住宅については、将来の人口などを推計したうえで、建替えなどの再整備を進めることになっています。</p> <p>建設について具体的な計画は立てられておりませんが、名瀬・住用・笠利の各地区の状況を見ながら検討していきたいと考えています。</p>	建築住宅課
				<p>現在、芦花部小中学校と崎原小中学校で特認校制度を導入していますが、特認校を希望する児童生徒数の確保や、通学時間の長時間化等の課題が見られます。また、市全体の児童生徒数の減少も奄美市全体の課題であることを踏まえ、市長部局とも連携して本件の検討を進めていきたいと考えています。</p>	学校教育課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
2	古見方	文化財の活用について	フワガネク遺跡のルートの伐採をしているが追いつかないので、市で対応してほしい。 また、展示施設を整備できないか。	現在、地域の文化財は地域で守り、文化財愛護思想を育てていくという理念の下、出来るだけ文化財が所在する集落に伐採等の管理をお願いしています。 少子高齢化等の問題により、その管理が難しい場合は、集落と市で協議させていただき、伐採の回数を減らす、範囲を限定する等の対応をしていますので、集落の皆さまと協議させていただければと思います。 展示施設については、令和元年度に策定した「史跡小湊フワガネク遺跡保存活用計画」に基づき、気軽に提供できる活用方法も視野に入れ、遺跡の魅力発信にも力を入れていきたい。	文化財課
3	古見方	バス路線の見直しについて	名瀬中心市街地へのバスが、県立大島病院で乗り換えとなっております。市役所での乗り換えに変更できないか。	古見方地区から市街地へのバスについては、バス路線の再編により乗り換えが発生し、ご不便をおかけしております。路線バスの運行にあたっては、新型コロナの影響もあり厳しい状況でもございますので、少しでも利用率を高めるために、こういった路線のあり方がいいのか、バス事業者と今後も協議を続けていきたいと思っております。	商工政策課
4	古見方	河川の管理について	小湊地区山田川に草木や土砂が溜まっている。水の流れが悪い。近くには何度も浸水した家もある。対応できないか。	小湊地区の山田川とは、伊津部勝山田川のことでもございましたので、現地確認を行い、伊津部勝町内会区長とも話をさせていただきました。 令和5年度に、土砂堆積が顕著な箇所について、掘削工事を実施することとしたいと考えております。	土木課
5	古見方	市施設の活用について	古見方へき地保育所が3月に閉園（休園）したが、跡地利用について市の方針を知りたい。（実業団陸上部等の合宿所や観光客の滞在地などどうだろう） 雑草の除去など維持管理は集落でもやっているが、市は管理しないのか。	保育所の跡地利用については、佐仁地区では集落の要望で月に1回フリーマーケットを開催し地域活性化に役立っています。屋仁地区も集落で検討しているところです。古見方地区も住民の皆さまの意見が重要で、地域に役立てていただきたいと思っております。	福祉政策課 R5.4月から こども未来課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
6	古見方	避難所運営について	ペット同伴の避難が出来るようにしてもらいたい。台風14号の際も、避難所で受け入れられず、消防団待機所に対応した。全島的な問題と思いますが、今後の取組みについてお伺いしたい。	現在、ペット避難について検討を進めており、ペット同伴の避難訓練実施に向け取り組んでいます。	総務課
7	古見方	土砂の撤去について	名瀬勝の市営住宅前水路に堆積した土砂を、今年6月に清掃作業をした。積み上げた土砂の撤去を市へ依頼したが手付かずである。浸水する地域なので配慮して早目にしていただきたい。	水路の草刈りをして土砂の堆積を確認したところ、被害を受けるほどの土砂は堆積していないことが確認できました。しかし、水路の排出先の大川（2級河川）において土砂が堆積しているため、大川を管理している県と協議を行い、土砂を除去します。	農林水産課
8	古見方	道路の管理（側溝）について	朝戸カジヤ橋の側溝の排水が溢れるため、大雨が降ると14～5件が床下浸水、床上浸水している。30年前から行政（市）に要望しているが、対策してもらえない。側溝の排水が川上に向かっていて、うまく排水できていないように見える。	集落内の市道を含めた現地確認を行いました。市の管理する朝戸川に流れ込む市道側溝と思われます。また、集落内道路に排水側溝がない箇所も確認されたため、今後、朝戸区長と現地確認や大雨時の状況を確認のうえ、必要な対応等について検討したい。	土木課
9	古見方	ダム安全対策について	大川ダムは50年経過し老朽化していると思いますが、修繕や改修計画などの現状について住民へ情報公開してほしい。ダムが増水したときの放流のタイミングや警報の状況、避難についてなどの情報を定期的に（地域へ）流してほしい。情報を流す時も、しっかり共有できるように市と自治会のリーダーで協議会を作ってほしい。	大川ダムについては今年度より老朽化対策等の工事を実施していく予定です。情報については、今年度大川ダム管理協議会を開催し、古見方全ての区長に委員に入っただき、情報共有をさせていただきたいと考えております。 万が一の際の避難については、今年度でハザードマップを作成し、古見方地区の各家庭に配布しますので、避難などの参考にさせていただけたらと思います。	農林水産課
10	古見方	危険木対応について	外来種であるアカギについて、古見方地区では民家や公共の土地に生えているアカギの対応に苦慮している。今後、人的被害や畑の伐採問題が出てくると思う。	アカギ等の外来種を含め、その他樹木については、その樹木の管理者（土地所有者等）の適正管理が求められており、周辺環境に配慮した管理をするのが望ましいと考えます。	環境対策課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
11	古見方	トイレの整備について	実業団陸上部の練習地域となっているので、市有地を利用して更衣室やトイレを整備できないか。以前要望書を提出したがどうなっているか。	古見方地区全体の振興を考える上で、当地の活用も含め引き続き、集落及び関係者の皆様とともに、よりよい方策を検討して参りたいと考えます。	企画調整課
12	古見方	市有地の管理について	崎原地区展望台の整備について。擬木が朽ちていてロープだけ張っている。集落有志で草を刈っていますが、危険箇所について市で対応できないか。	現場確認を行いました。 今後、対応が必要な箇所について検討を進めたい。	土木課
13	古見方	漁港備品の活用について	漁港冷蔵庫を活用したい。ホエールウォッチングの待合などどうか。	漁協管理のものであるため、検討事項として市から漁協へ情報提供しました。	農林水産課
14	古見方	防災対策について	小湊自主防災組織を作りたい。市の協力をお願い出来ないか。	小湊地区自主防災組織（名称：小湊防災会）は、平成11年に設立されています。町内会の連絡等と併せて広報していただくよう依頼したい。	総務課
15	古見方	道路整備について	以前から県で構想しているオーシャンハイウェイの整備について、県への働きかけをしてほしい。	現在は国道58号の整備を最優先としていること、また、安全性が確保できていない住用地区や笠利地区の道路拡幅工事を要望しておりますことをご理解いただきたい。その整備が終結に向かう事で当該構想の必要性を含めた検討がなされることと思います。	土木課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
16	古見方	河川の管理について	西仲勝の砂防ダムから川に流れた砂が堆積し、これまで地域で清掃してきたが、溜まった土砂の量が徐々に増え、人力では難しく対応に苦慮している。市で対応できないか。	河川内の状況把握として現場確認を行いました。砂防堰堤については、県大島支庁へ情報提供も行っております。	土木課
17	古見方	学童クラブの存続について	大川小学校の学童クラブが、支援員の退職で来年度は存続できないという話になっている。20名のうち小湊小が6名、大川小が14名。このままだと奄美小の学童クラブに移ることになり、心配している。市には支援員を探すお手伝いをお願いしたい。	担当課としても、大川小学童クラブを存続してほしいと考えています。行政から支援員の派遣などは出来ないため、運営団体への情報提供や市民への広報周知で協力を継続していきたい。また、集落の中でも情報発信し、地域で人材を確保できるような呼びかけもお願いしたい。	福祉政策課 R5.4月から こども未来課
18	古見方	避難所運営について	台風などの災害時に避難所として学校を開放していますが、1月の津波の際は寒い中、避難者に対して防寒対応が出来なかった。学校としては避難所開設に協力したいと思いますが。毛布、水、食料など設備を整えていただきたい。	毛布等、避難所で長期保存が可能な物資については、今後、備蓄ルールを検討したい。	総務課
19	市街地	公園の管理について	公園の樹木の見直し、入れ替えをしてほしい。アカギ、ゴムの木、モクマオウ。 アカギは、鳥を介してどんどん増えていく。ゴムの木は、根が地面の上に出てくる、また、落ち葉掃除が大変。モクマオウは、根が広がっていく。	危険木については、学校関係を中心に対策を進めているところです。それ以外の街路樹、公園の樹木なども状況や危険度に応じて考えていきたい。また、切ることに對しても様々なご意見があると思いますので、ご意見を聞きながら判断したい。豊かで魅力的な公園づくりが出来ればと思います。	都市整備課
20	市街地	道路管理（側溝）について	まち中の側溝は泥が溜まり、草が生えている状況、蓋が重く住民では難しいので市に対応してほしい。	現場確認を行いました。広範囲にわたるため、他地区との優先順位や地域からの要望等を踏まえ、随時対応を検討していきたいと思います。	土木課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
21	市街地	通信エリア拡大について	金作原は携帯電話が通じない。救急搬送などの不測の事態に備えて整備をしてほしい。	世界自然遺産登録以降、金作原ツアーには大変多くの申込みがあると認識しており、地元住民・観光客を問わず安全に自然観察ができる環境を整える必要があるため、携帯通信会社への整備要望を行っていきたい。	世界自然遺産課
22	市街地	道路整備について	末広町永田川沿いのガードパイプや道路が一部未着手になっている。整備してほしい。 木の伐採をせずに残しているのが原因。	現場確認しました。過去に木の伐採に反対の意見もあり、整備未着手となっておりますが、地域からの要望等に基づき伐採や整備の検討を行いたい。	土木課
23	市街地	防災対策について	防災無線について。おがみ山自治会の住家は聞こえづらいため改善できないか。	防災ラジオでの対応を検討したい。また、災害情報は多様な手段で発信している。情報収集方法の更なる広報に努めたい。 ※防災行政無線 放送内容の確認方法 ・音声：電話「69-3535」（有料）で聞くことができます。 ・文字情報：防災行政無線の放送分のうち、防災に関する情報は、奄美市公式のLINE、ツイッターで文字情報として確認できます。また、今後、MBCアプリ、dボタンにて同内容を発信予定。	総務課
24	市街地	港湾整備について	鹿児島新港の離島航路待合所にコインロッカーを整備してほしい。	【鹿児島地域振興局建設総務課回答】 ターミナルにおける手荷物関係は、3階の待合所に手荷物預かり所として事業者（個人）に使用許可を行い運営しているところであり、ご指摘のとおり、不在の時間帯に利用者の方にご迷惑をおかけしたものと心苦しく思います。  手荷物預かり所の担当者によると、当ターミナルにも過去にはコインロッカーを設置していた時期があり、鍵の紛失や取扱いによる故障等のトラブルが多く、業務に支障が出て撤去した経緯があるとのこと。  ご要望の件については、現在使用許可を行っている事業者に対し、情報提供を行うとともに、ニーズや設置可能場所等について情報収集して参りたい。	土木課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
25	市街地	フリースクール運営支援について	<p>民間フリースクールの運営費や、利用者の利用料に対する補助・支援について、情報含め行政の応援が欲しい。保護者の経済的負担が大きく、経済的なことも含め保護者への多様な支援の必要性を感じている。</p> <p>スクールには、学校関係者が見学にきたり、保護者だけではなく福祉関係者や島外からも相談や問い合わせがあるなど需要の高さを感じている。様々な子どもを支えることができる仕組みを増やし、子育てしやすい「しあわせな島」になってほしい。</p>	<p>フリースクールについて率直なご意見ありがとうございます。不登校や困難を抱えている子どもが増えていることは認識しており、フリースクールの大切さについては実感しています。</p> <p>今後、総合教育会議の中でも、不登校への支援について今のやり方だけでいいのか、時代に合わせてもっと踏み込んでいくべきではないか等、しっかり議論し、出来るだけ早く一步を踏み出せるようにしていきたい。</p> <p>その中で、フリースクールも出席日数にカウントできる仕組みづくりなどもお互いに目指していければと思います。</p> <p>どのような状況の子どもでも、どこにいても、いつでも学びが出来るような奄美市の教育環境を一緒に目指していきたいので、今後もご意見をいただきたいと思っています。フリースクールの支援が始まっている自治体もありますので、調査していきたい。</p>	学校教育課
26	市街地	ふれあい対話の継続について	<p>現在、中心市街地の今後や子育てしやすい街に関するアンケートを実施しているところ。市民の声が届くこのふれあい対話はありがたい。このような場を継続してほしい。</p>	<p>令和5年度も引き続き実施していく予定であるが、開催時期や場所、開催方法等、今年度の実績を踏まえ、よりよいやり方を検討したい。</p>	企画調整課
27	上方	市の行事の再開について	<p>市民まつり（奄美まつり）を今年は全行事やっていただきたい。特に八月おどりは、市がやっていただければ地域はやりやすくなる。（自治会の）資金づくりでもある。3年間中止しているので。</p>	<p>コロナの状況についても国の方針も大きく変わろうとしていますし、また、今年は復帰70周年でもありますので、出来る限りアフターコロナに向けた市政運営をしていきたい。地域におかれても様々な地域行事、伝統行事を実施していただきたい。</p>	細観光課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
28	上方	災害時の避難場所について	<p>有屋地区は、災害時の避難場所として、田中一村公園、建設会社（奄美土木）の資材置き場、和光トンネル入口の高台としており、訓練には211名が参加した。</p> <p>終了後の話し合いでは、田中一村公園が、根っこが地上に出ている歩きづらい、車いすや高齢者には不便であるという意見が出た。トイレも足りなく、避難する人数にはとても対応できない。</p> <p>出来れば身障者用トイレの増設、洋式トイレの整備をしていただきたい。併せて、津波避難場所でのトイレがない場所へのトイレ設置、備蓄が出来る小屋の整備をお願いしたい。</p> <p>また、町内に5階建て以上の建物があるが、垂直避難が出来る場所を行政から声掛けをしていただくことは出来ないか。</p>	<p>田中一村公園の樹木剪定と整地を行いました。</p> <p>トイレ設置については、防災の資機材等購入に活用できる自主防災組織に対する助成事業もごございますので、簡易トイレ、テントで対応するなどの取り組みから行政と地域と連携していきたい。</p> <p>垂直避難については、地域の皆さまとコミュニケーションを取りながら一緒に取り組んでいければと思います。</p>	総務課
29	上方	リサイクルの拠点施設	<p>有屋町内会では、上方地区のリサイクルの拠点として資源の回収を始めている。多いときは70トン以上の回収が地域住民の協力で出来ています。また、あらゆる種類の資源ごみを誰でもいつでも出せるように運営している。</p> <p>今後、集会場の増設を考えているが、そうすると資源ごみの回収場所が足りなくなる。</p> <p>そこで相談ですが、旧と畜場を奄美市のリサイクル拠点場所として、奄美市全体の住民を対象にする施設として整備してほしい。地域住民の協力が必要であれば声掛けをしたい。</p>	<p>現と畜場施設につきましては、建設中の奄美大島食肉センター（仮称）オープン以降については閉鎖しますが、その後の具体的な用途については決まっていません。</p> <p>リサイクル拠点施設として跡地の有効利用は選択肢のひとつとして考えられますので、地域住民の皆様のご意見を伺いながら、本市として有効な利用を検討してまいります。</p>	環境対策課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
30	上方	市指定文化財の管理について	有盛神社は文化財になっているが、担当課で草刈り、道路への木のはみだしへの整備がなされていない。 地域でやっているが、せめて3年に一度くらいは行政でやってほしい。	有盛神社の石造弁才天像は市指定有形文化財、有盛神社境内の森林は市の天然記念物に指定されており、境内は浦上町内会、森林については市の所有となっています。 予算の範囲内で優先順位を決めながら年次的に文化財周辺の伐採等を行っています。 有盛神社周辺は、令和4年度に一度伐採をしており、年度内にもう1回予定していますが、森林の範囲が広範囲に渡るため、十分に伐採できていない状況です。これまでも浦上町内会の方々にご協力を頂き、文化財の保護に努めてきましたが、随時状況を見ながら伐採などの整備について検討してまいります。	文化財課
31	上方	自治活動への参加について	町内の2割くらいは転勤族やマンション住まいの方で、誘っても入らない。 入会してほしいが手立ては？不動産協会に協力してもらおうとか。是非考えていただきたい。	難しい問題と認識しています。こういった働きかけが出来るのか今後模索したいと思います。	企画調整課
32	上方	災害時の避難場所について	浦上は、有盛神社、浜田機動（本茶峠入り口）が指定避難所で、住民はほとんど車で来る。 昨年の津波警報の際は、車がいっぱいに入らずに、笠利方面へ行くようお願いした。そのうえ、市街地からも来ているようだ。 それぞれの地域の避難所について周知してほしい。そして、市街地の皆さまには指定の場所へ行くようお願いしてほしい。	市街地に住んでいるの方々にもハザードマップを確認してもらい、今後、市でも防災力を高める取り組みを進めていきます。 防災アドバイザーによる研修会など、災害時にどのような行動をとるかを平時から考える取り組みをすすめてまいりたいと思います。	総務課
33	上方	トンネルの整備について	長年の懸念事項である有良から大熊へのトンネル整備について、是非、再度奄美市から発信してほしい。	有良～大熊トンネルにつきましては、以前より県に対し要望しているところです。 市長回答のとおり、現在は国道58号の整備を最優先としていること、また、他にも要望箇所があることから早期の事業着手は難しいと思われませんが、整備実現に向け、継続して要望していきたいと思っております。	土木課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
34	上方	残土処分場の現状について	週2回、見守り隊で活動している。残土処分場の関係で、道路をダンプが頻繁に通っていて事故が起こらないか心配。この残土処分はいつまで続くのか？完成したらどこの土地になるのか？奄美市なのか地域の所有なのか。	奄美市建設残土処分場につきましては、公共工事の残土処分に資する施設であり、今後もしばらく利用が続きますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 また、ダンプの通行につきましては、事業者に対して、安全に配慮して通行してもらうよう、注意を促しますので、併せてご理解いただきますようお願いいたします。 なお、完成後の土地利用につきましては、市長回答のとおり、地域の要望をお聞きしながら検討していきたいと考えております。	土木課
35	上方	道路の整備について	鳩浜自治会が出来て45年くらい。市道の整備要望をして少しずつ改善されてはいますが、ガタガタ道の整備がまだ残っているので早急にしていただきたい。市に要望書は出してあります。	今年度、鳩浜地区においては2路線（L=180m）の舗装修繕工事を実施しています。 まずは早急に路面状況の確認を行いたいと思います。 名瀬地区全域において舗装の老朽化が見られることから、他地区と合わせ優先度を検討し、順次修繕を行っていきたいと考えています。	土木課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
36	下方	買い物弱者について	<p>少子高齢化となり、買い物弱者が現在14名いる。このまま増えていくのは間違いない。半年前まではとくし丸がやっていた。路線バスは、平松町で1時間おきのバスに乗り換え、市街地の往復が5時間以上かかることもある。</p> <p>バスの路線を里から根瀬部に延ばしていただくか、大和村のバスに有料でいいので乗れるように働きかけてほしい。</p>	<p>加齢により移動が困難になる中で、地域の商店も閉店するなど、特に高齢者の皆様にとって買い物支援は大きな課題であると考えています。現在、有屋町や住用地区などのように有償ボランティア組織を立ち上げて対応している地区や介護施設の車による買い物への送迎を受けている地区、また昔からの付き合いの中で買い物への送迎を行っている地区もありますが、地域によって様々な課題があると思います。</p> <p>移動販売とくし丸の他、生協やスーパーによる配達、また個人で買い物代行業をされている方等民間の資源もありますので、そのような資源の活用についても踏まえながら、各地域に合った解決策を、地域の皆様と共に検討してまいります。</p>	高齢者福祉課
				<p>大和村のバスについては、大和村から奄美市名瀬へ行く場合は、奄美市内の停留所から乗車することはできず、奄美市内では降車のみが可能。また、奄美市名瀬から大和村へ行く場合は、奄美市内の停留所で降車することはできず、奄美市内では乗車のみ可能となっており、奄美市内での乗降者については想定しておりません。</p> <p>バス路線の延長等については、引き続きバス事業者と情報共有を行い、地域の方々にとってどのような路線の在り方が良いのか、頂いたご意見や他の路線との関連等を踏まえ、協議を行っていく予定です。</p>	商工政策課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
37	下方	避難所の整備について	津波の際の避難所として、大浜第一駐車場が指定されているが、問題になるのはトイレと水分補給。観光客のためにもトイレを設置してほしい。また、避難場所に物資を備えてほしい。	<p>該当の場所は、水道が通っていないこともあり、トイレ設置は時間も予算もかかります。防災の資機材等購入に活用できる自主防災組織に対する助成事業もありますので、簡易トイレ、テントで対応するなどの取り組みから行政と地域と連携していきたいと思います。</p> <p>非常食については、市の備蓄は、津波が去ったあと避難の日数がかかるときに対応する分の備蓄になります。是非、町内会や自治会、個人で最低限の備えはやっていただければと思います。災害は、いついかなる時に起こるか分かりません、行政の対応が遅くなることもあると思います。まずは、自分たちの安全を個人や地域で守ることを徹底していただき、行政が出来るところはサポートしますのでご理解ください。</p>	総務課
38	下方	少子化対策について	少子高齢化や人口減少が進んでいるが、奄美市としての将来に向けた少子化対策を分かりやすく市民に説明してほしい。子どもたちへの温かい支援をアップしてほしい。	<p>本市における出生数につきましては、平成20年が450人、直近の令和4年は267人で過去最少となっており、この15年間で出生数は約6割程度まで減少し、少子化対策はまさに喫緊の課題であると認識しております。</p> <p>本市はこれまで、出産祝い金や子ども医療費の拡充、不妊に係る各種助成事業や産後ケア事業をはじめとした各種相談・教室など子育て世代包括支援センターによる妊娠・出産・子育て期までの切れ目のない支援による少子化対策や子育て支援に取り組んできたところです。</p> <p>また、本年度策定に取りかかっている本市の最上位計画においても「少子化対策」は重要課題と位置付けております。</p> <p>計画の方向性についても、「すべての市民が共有できるシンプルでわかりやすい」計画を策定することを決定し、今後、各分野の課題について議論を行ってまいります。</p> <p>スケジュールとしましては、9月頃に骨子案、本年度末頃を目途に最終案を取りまとめ、その都度、パブリックコメントを実施するなど、市民の皆様の声を伺う機会も設けることとしています。</p> <p>先般、国が公表した「こども未来戦略方針」など国の動きにも注視しながら、行政や企業、そして市民が一体となって取り組む施策について幅広く検討してまいりたいと考えております。</p>	<p>福祉政策課</p> <p>R5.4月から こども未来課</p>

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
39	下方	街路樹の保存について	<p>市の歩道に植えられていた緋寒桜、移植、令和3年度には市道のバリアフリー、多くの街路樹は切られた経緯ある</p> <p>まだ残っているのは郵便局からコミュニティ用地までの間</p> <p>夏場は日陰を作り、散歩やウォーキングをする住民の一時的な休憩場所となっている。</p> <p>地域の実情により、今後工事の際は街路樹を残してほしい。</p>	<p>この道路整備は歩道の勾配緩和に加え、樹木等の撤去による見通しの確保や倒木等の被害発生を防ぎ、安全・安心な歩行空間の確保を目的としています。</p> <p>街路樹については本目的を踏まえた上で自治会の意見も聞きながら進めていきたい思います。</p>	土木課
40	下方	福祉・介護について	<p>子ども医療費については、18歳まで無償となっているが償還払いとなっている。現物支給に出来ないか。</p> <p>また、事業所にヘルパーを募集しても集まらない。市で手立てがなにか。閉鎖した事業所もある。</p>	<p>子どもの医療費制度につきましては、本市としても、安心して子どもを産み育てることのできる環境を整えるためにも、本制度の更なる拡充が必要であると認識しております。本制度が県と市町村が共同で実施している制度であることから、県市長会を通じ、所得や世帯の課税状況に関わらず、受給者にとって利便性の高い現物給付方式とするよう、県に対し制度拡充の要望を行っているところです。</p> <p>市ではこれまで、ヘルパー不足を補うための「生活介護員養成研修」や、学生を対象に医療・介護・福祉の仕事の良さを知ってもらうための「進路ガイダンス」等に取り組んできました。令和2年度以降は新型コロナウイルスの感染拡大もあり、進路ガイダンスは実施できませんでしたが、今年度は老人福祉施設協議会主催による「介護就職ガイダンス」が開催され、市も共催させていただいたところです。</p> <p>今後、少子高齢化が進む中で、生産年齢人口が減少し、これまで以上に介護分野の人材確保は難しくなることが予想されます。このような課題を介護事業所様とも共有しながら、介護人材の確保に努めてまいりたいと考えております。</p>	<p>福祉政策課</p> <p>R5.4月から こども未来課</p> <p>高齢者福祉課</p>

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
41	下方	避難所について	避難所として朝仁児童館が指定されているが、雨戸がなく台風時は不安である。	奄美市集会施設改修事業補助金を活用して、各自治会で設置しているところです。	企画調整課
42	下方	防風林について	海岸線の防風林（モクマオウ）が台風のために折れて危険である。また、墓などへのゴミとなり住民に影響が出ている。市での伐採の検討をしてもらいたい。	この海岸は、海岸保全区域が設定された県管理の海岸となっています。県に確認したところ、対象のモクマオウは海岸管理上支障となっていない、と判断されるため、現在のところ伐採することは考えていない、とのことでした。また、仮に地域等で伐採を行う場合については、「みんなの水辺サポート事業」の活用も可能であり、県への許可は不要であることから地域での対応等ご考慮いただければ、との回答をいただいています。 ※みんなの水辺サポート事業・・・登録制の補助制度で、清掃美化活動に一定の金額が補助される。	土木課
43	下方	避難所について	津波避難の際の避難場所を再検討する必要があると思う。令和4年1月の警報の際は、赤崎公園へ向けて車が入れなかった。住民と語って考えてもらえないか。	避難所については、絶えず見直しが必要です。近くの山だけでなく垂直避難という考え方もあり、例えば、住んでいるビルの高さによっては留まるほうが安全な場合もあります。色々な知識について、地域の皆さまと一緒に学び合い考える機会を持ちたいと思います。	総務課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
44	下方	要支援者の避難について	市営住宅には、1階の一部に障がい者用居室に住んでいる住民がいるが、津波の際、この介助が必要な住民の避難をどうするのか？市の応援があるのか？	<p>昨年の津波警報のあと、議会でも非常に議論されていますが、現在奄美市では、個別避難計画策定を進めています。地域の要支援者を優先的に、町内会自治会、福祉事業所や行政と一緒に策定を進めています。</p> <p>市内では小湊や大熊で少しずつ計画づくりを進めているところです。災害は昼夜いつ起こるか分かりませんので、丁寧な運用が必要かなと思います。行政だけでなく地域の皆さまとも一緒に取り組んでいきたい。</p>	総務課
44	下方	ゴミの集積所について	ゴミステーションまで行きづらい世帯に対して、町内会でネットを購入して配布している。集積場所を住民で決めたい。	<p>ゴミの収集場所は、町内会で決めていただいて、市の委託を受けた収集事業者が回収することになっております。</p> <p>収集場所選定の際は収集車両が通行できる道路で、できるだけ多く集積できる場所を選んでいただき、環境対策課にご相談ください。</p> <p>収集ルートが変わると、他の地区の収集時間にも影響するため、収集事業者との調整も必要になりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	環境対策課

No	地区	意見項目	意見要約	担当課の対応	担当課
45	下方	世界遺産登録について	世界自然遺産に登録されて入り込み客も増えたと聞くが、実感できない。市民への還元はどう考えているのか。	本市では令和5年度から「世界自然遺産に関する新たな財源創設検討委員会」を立ち上げることとしております。これまで市民の皆様からの税金に加え、国・県の交付金等を財源として、世界自然遺産に登録されるための環境保全経費や観光経費をねん出してきたところですが、本委員会ではこれらの財源を市民の皆様からではなく、原因者負担の原則にのっとり、世界遺産を目的に来島する観光客の皆様などから、法定外税もしくは協力金としてご負担いただくことを検討するものです。住民福祉の増額等に関しましては、各所管課にご要望ください。	世界自然遺産課
46	下方	農産物直売所について	農産物の直売所を作ってほしい。農業の振興	官民連携して取り組むことも考えていきます。農業人口を増やすため、研修制度も県と連携して、農業が盛んになる地域づくりに取り組んでいきたい。	農林水産課